

## 退職のご挨拶

加藤信一

この2019年3月末をもちまして、京都大学理学部数学教室を定年退職いたしました。同窓会からのお勧めにより一言ご挨拶させていただきます。

私は1986年に京都大学教養部数学教室に着任いたしました。着任当時は右も左も分からないような状態でしたが、理学部数学教室で開かれていた平井武先生主催の函数解析ゼミに出席させていただき、平井先生、辰馬伸彦先生をはじめとするゼミのメンバーの方々に色々とお世話になる中で京都大学での生活に順応することができて大変ありがたかったです。

当時の教養部（現在の吉田南キャンパス）は手狭で居室が足りず（数学教室は私を入れて27名）、私の居室はF号館（現在の吉田南3号館）4階廊下の隅をパネルで間仕切りしたところ（電話水道なし、ただし一人部屋）になったのでした。授業では履修者が沢山いたはずなのにいつの間にか出席者数名になってしまったり、ヘルメット学生が入り込んできて演説を始めたためやむなく授業を途中解散したりということなども思い出されます。

その後教養部の人間環境学研究科や総合人間学部への改組や旧A号館の建て替えなどが行われた後、2003年に理学部への配置換えにより、他の総合人間学部、人間環境学研究科の方たちとともに理学部数学教室にお世話になることになりました。

理学部では教育研究活動に加えて、大学運営関係として学生部委員（寮担当小委員会委員長）を仰せつかりました。このときは、寮生集団との話し合いに応じたり（数学教室のガラス張りの部屋を使わせていただきました）、熊野寮地下某派BOXへの警察の家宅捜索に立ち会うため早朝呼び出されたり、という京大らしい体験をいたしました。

また教養部以来の経験を活かしてということかもしれませんが、数学部会など全学共通科目に関係する仕事を担当させていただきました。特に退職前の数年間は国際高等教育院所属・理学研究科併任という形で、三輪哲二先生と一緒に講義演義科目を創設するなど数学系全学共通科目の再編に携わることにな

りました。この再編が京都大学の初年次数学教育の質の向上にいささかなりとも繋がってくれればと願っております。

京都大学在職中は、先輩、同僚の先生方、スタッフの皆さま、また学生の皆さんにもいろいろと助けて／励ましていただきましたことに改めてお礼を申し上げます。ここに数学教室の更なる発展を祈念して退職のご挨拶とさせていただきます。